

平成22年度 ほらどまちづくり委員会 年間事業報告

	交流活動費	学習活動費	福祉活動費	総務部会費	ICT部会	広報部会費
4月		郷土展望講演会(24)		総務会(13) 総会(28) 役員会(28)	ICT部会(13) はじめてのパソコン講座 (全24回)	広報ほらど通信発行(1)
5月		郷土展望講演会(15)		総務会(11)	ICT部会(11) はじめてのパソコン講座 (全5回)	
6月	夏祭り実行委員会(8)	郷土展望講演会(5)	防災会議(2)	総務会(15)	ICT部会(15) ワード基礎講座(全8回)	広報部会(1)
7月	ミネハハブコンサート (4) 夏祭り実行委員会(27)	郷土展望講演会会議(23) 郷土展望講演会(24)		総務会(13)	ICT部会(13)	広報ほらど通信発行(1) 広報部会(21)
8月	Pフェス実行委員会(5) 夏祭り(15) Pフェス折鶴を折る会(23)	郷土展望講演会(21)	サマーキッズクラブ (全7回)	総務会(18)	ICT部会(18) 洞戸サイトカレンダー講習会 (6) サロン広報事業(15)	
9月	Pフェス折鶴を折る会(6)	郷土展望講演会(18)	敬老会支援(20)	総務会(13)	ICT部会(13) エクセル初級講座(全5回) ワード初級講座(全6回)	
10月	ピースベルフェスティバル (16)	郷土展望講演会(9)		総務会(14)	ICT部会(14) パソコン入門講座(全5回)	広報ほらど通信発行(1)
11月	関にし秋の祭典(6・7)	郷土展望講演会(13)		総務会(19)	ICT部会(19) 年賀状作成講座(全2回)	
12月		郷土展望講演会(11)		総務会(16) 大掃除(19)	ICT部会(16) ワード基礎講座(全8回)	
1月		郷土展望講演会(29)		総務会(21)	ICT部会(21) インターネット講座(20)	広報ほらど通信発行(1)
2月		郷土展望講演会(12) 岐阜県「地域発！ふるさと学習」 研究報告会(26)		総務会(18)	道しるべ講座(5) インターネット講座(17) ICT部会(18)	
3月		郷土展望講演会(5)		総務会(17)	インターネット講座(10) 道しるべ講座(13) ICT部会(17)	広報部会(8)

↑  
学習センター・便り・エントランスホール展示  
↓

(通年)

## 平成 22 年度 ほらどまちづくり委員会 事業報告

### 総括

平成 22 年度は、平成 21 年度に行った事業の拡張・発展し、継続的に推進できる事業の展開を目標とした。

### ほらどまちづくり委員会 平成 22 年度実施事業

#### 1. ミネハハ・プチコンサート 7/4

目的：市制 60 周年記念行事に向けての前夜祭 地域文化の振興

内容：音楽コンサートの開催

担当：[事業部会(交流事業)] 委員会役員 職員 洞戸村ふるさと塾

#### 2. 夏祭り 8/15

目的：コミュニティの構築 地域の活性化

内容：夏祭りの開催（盆踊りの実施、夜店を開く）

担当：[事業部会(交流事業)] 商工会青年部 キイスポーツクラブ 栗原地区青年部 洞戸村ふるさと塾

#### 3. 関にし秋の祭典 11/6,7 7000人

目的：地域交流と地域活性化を図る

内容：文化交流展、にぎわい横丁、ちびっ子広場 ほか

担当：[事業部会(交流事業)] 実行委員会 自治会洞戸支部 文化協会 他

#### 4. ピースベルフェスティバル 10/16

目的：文化活動、生涯学習の推進 活動発表の場の提供 ほか

内容：音楽の平和の祭典

担当：[事業部会(交流事業)] 実行委員会 小学生 中学生 文化協会  
一般参加者 ほか

#### 5. 郷土展望講演会

4/24,5/15,6/5,7/24,8/21,9/18,10/9,11/13,12/11,1/29,2/12,3/5

目的：郷土の今を知り未来への夢を展望、共有する。

内容：地域内の各分野で活躍する人を講師にした講演会を開催(3 講演)

担当：[事業部会(学習活動)] 委員会役員 洞戸村ふるさと塾

6. 岐阜県「地域発！ふるさと学習」研究報告会 2/26  
目的：地域の教育力強化と次世代育成プログラムの取組みの研究発表  
（県博「郷・豊夢PJ」との連携）  
内容：郷土展望講演会を通しての研究発表とパネルディスカッション  
担当：[事業部会(学習活動)] 委員会役員 洞戸村ふるさと塾
7. 防災会議 協議会 6/2  
目的：地域住民の安心と安全の確保  
内容：効果的な防災事業に向けた会議の実施と事業計画の策定  
担当：[事業部会・福祉活動] 警察 消防 行政の担当者 自治会支部長、  
防犯防災部長 委員会委員長 ほか
8. センターイベント サマーキッズ（夏休み期間 全7回）  
目的：生涯学習センターでミニイベントを開催することで、情操教育等の  
推進と地域バスの利用を含めた住民活動の活性化を促進する。  
内容：ヒップホップダンス教室 料理教室 読み聞かせの会 開催  
担当：[事業部会(福祉活動)] 読み聞かせボランティアの会 ほか
9. ネットサロン事業 通年  
目的：情報リテラシー教育 地域情報の発信 デジタル格差の解消  
内容：パソコン操作利用講習 インターネットの利活用講座 トラブル解  
決等の出前講座  
担当：[ICT部会(旧ネットサロン部会)]
10. 地域広報誌の発刊 4月、7月、10月、1月  
目的：地域の情報、活動の広報 コミュニティの推進  
内容：ふるさとほらど通信の発行  
担当：[広報部会] 社協 キョイスポーツクラブ 洞戸村ふるさと塾 ほか
11. 生涯学習センター便りの発行 毎月  
目的：頻繁なミニコミ活動による地域情報の発信、共有  
内容：センター活動の紹介を中心としたミニコミ誌  
担当：[総務部会]

- 1 2. 生涯学習センター貸し館業務 通年 <実績別紙>  
目的：生涯学習の推進 福祉活動の推進 地域の活性化  
内容：センター管理 貸し館業務  
(文化活動、教育、子育て、福祉活動、会議、イベント ほか) 供用)  
担当：[総務部会]
- 1 3. 図書館業務 通年 <実績別紙>  
目的：図書館業務を通じて住民の生涯学習を推進する  
内容：図書の貸出し促進 読み聞かせ教室の開講 図書室管理  
担当：[総務部会(図書)]
- 1 4. エントランスホール展示会 <別紙参照>  
目的：作品の紹介と交流 作品発表の場の提供  
内容：生涯学習センターホールでの 団体、個人の作品展示  
担当：[総務部会] 各種団体、個人
- 1 5. ロビーパソコンの開放 通年 (センター開館時) <実績別紙>  
目的：情報技術に気軽に触れられる機会を提供し利活用を促進する。  
内容：ロビーにインターネットに繋がり自由に使えるパソコンを開放し活  
用の補助等も行う。  
担当：[総務・ICT部会]
- 1 6. 自治会活動支援 敬老会 9/23 通年支援  
目的：自治会活動の支援  
内容：敬老会開催業務の請負 自治会洞戸支部の案内文書の作成と発送  
自治会の案内文書の作成とコピー  
担当：[総務部会] 自治会洞戸支部
- 1 7. 農業活性化支援 6月～11月  
目的：農産物等の販売に情報機器を活用することで農業の推進を側面から  
支援する。  
内容：農産物等の販売時に必要な食品表示シートの発行等 (ロビーパソ  
コン使用)  
担当：[経営部会] 洞戸村ふるさと塾 愛農会 農産物生産者 ほか

18. まちづくり企画 視察 2/25 ほか

目的：まちづくりの企画と立案

内容：委員会事業の企画 拠点整備事業の調査研究と提言

担当：[企画部会] 地域審議会 委員会役員会 洞戸村ふるさと塾

19. エコキャップ回収 通年

目的：資源回収を通じてポリオワクチンを世界の子どもに届ける。

内容：ペットボトルのキャップ回収事業を通して、その再資源化で得る売却益の一部でポリオワクチンを購入寄贈し救済する活動に協力。

担当：[総務部会] PTA 小学校

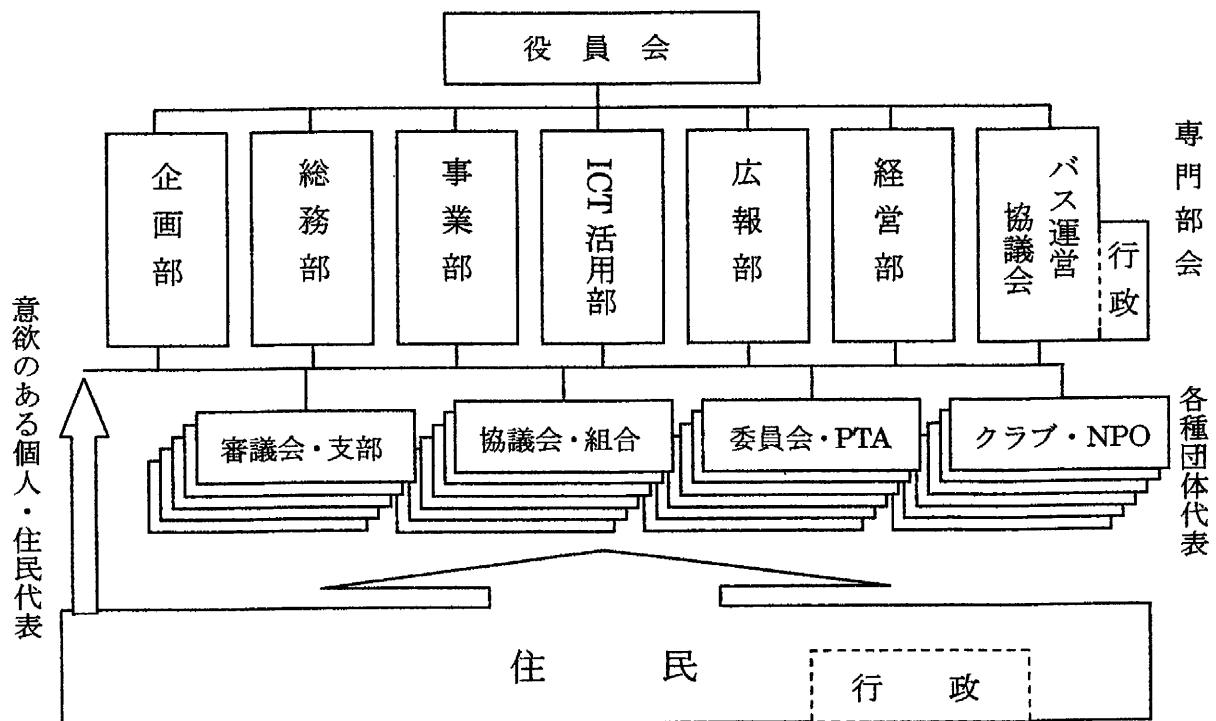
20. その他

畑土譲渡の仲介 (46件の利用)

担当：[総務部会]

ほらどまちづくり委員会 組織図

(平成22年度参画団体 22)



## 平成 22 年度 洞戸地域バス運営協議会事業報告

地域内バスの運行 通年（除土日祝祭日） 協議会 8/17 1/27

目的：地域に望まれる効率的で効果的交通体系の構築

内容：地域バス運行の研究協議と実証実験

担当：[地域バス運営協議会] 委員会の役員会と広報部会 行政の担当者ほか

### <運行形態の種類>

#### ① 地域内定期バス運行

各地域と洞戸内主要拠点施設（福祉センター・診療所）を結ぶ利用の運行が中心。洞戸地域内と寺尾地区を走行。無料。

AM8:20～10:55 と PM14:20～17:25 の 1 日 2 回運行

本年度の年間走行距離 35,913km

#### ② デマンド乗合バス運行

予約電話による（複数の）利用者の希望乗降点（バス停名もしくは拠点施設）及び乗降車時刻の要求に応じて、希望乗車点へ迎えに行く形の経路で運行。通常は複数の利用者に乗せる乗り合い型の利用運行。

洞戸地域内と寺尾地区を走行。無料。

本年度の年間走行距離 9,265km。 利用予約件数 511 件

### <協議会会議内容>

#### ○平成 22 年 8 月 17 日会議

平成 22 年 4 月～7 月までの運行実績と問題点について協議

#### ◆問題事例

- ・デマンド乗合バスは待機時間を持たない形態のために起こる問題  
診療所から帰宅するためにデマンド乗合バスを利用される方が、待合時間や治療時間等の延長により予約された時間に間に合わない事例  
→ 余裕をもって予約時間を設定してもらうようにした。
- ・複数の利用者間での連絡不足による問題  
利用者同士の連絡不足により、利用しない方の家にまで迎えに行った問題  
→ 利用者内で代表者を決めてもらい、代表者がまとめてから連絡してもらうようにした。

## ○平成23年1月27日会議

平成22年8月～12月までの運行実績と問題点について協議

### ◆特徴

- ・10月に洞戸車庫から中濃厚生病院を往来する“牧谷線”のダイヤ改正に伴い、板取線からの乗り継ぎや、武芸川地域バスからの乗り継ぎでデマンド乗合バスを利用された事例が増加した。

### ◆問題事例

- ・定期バスにおける問題

利用者より「時間通りにバスが来ない」との苦情事例

→ 運転手に出来る限り時間を守るように注意を促した。

### ◆今後の課題

定期バス運行のダイヤ改正案

- ① 岐阜バス・板取乗合バス・武芸川乗合バスとの乗継が出来るようなダイヤ改正を考慮。
- ② 午前最後の便並びに午後最初の便については洞戸中心へ向かう人が少なく、「各地域→洞戸中心部」ではなく「診療所発→各地域」を考慮した方が利用増加に繋がるのでは。
- ③ 「午前中は洞戸中心部」へ「午後は洞戸中心部→各地域へ」という運行ダイヤを目指すと区間回送を取り入れた走行を考えてみてはどうか。